

第14回伊那市地方創生総合戦略審議会 会議録

開催日	令和元年11月5日(火)			
開催時間	開 会	午前10時	閉 会	午前11時45分
開催場所	市役所 多目的ホール			
委員出席者	伊那市議会	飯島 進		
	伊那地区区長会	平澤 隆		
	高遠町地区区長会	諏訪 光俊		
	長谷地区区長会	西村 利美		
	上伊那農業協同組合	伊藤 昭人		
	上伊那森林組合	原 武志		
	伊那商工会議所	向山 賢悟		
	伊那青年会議所	小笠原 裕樹		
	地域交通事業者	石倉 信一		
	伊那市金融団	鳥原 秀夫		
	連合長野上伊那地域協議会	唐澤 大輔		
	伊那市社会福祉協議会	小池 浩史		
	伊那市教育委員会	北原 秀樹		
	中部PTA連合会	垂水 浩二		
	伊那市保育園保護者会連合会	池上 裕平		
	伊那市女性人材バンク 公募	唐澤 桂子 舛井 優子		
欠席者	長野県経営者協会 上伊那支部	小口 知彦		
	伊那市観光協会	向山 知希		
	信州大学	林 靖人		
委員以外の出席者	上伊那地域振興局 企画振興課長	山邊 英夫 (代理出席 唐澤)		
出席した事務局職員等	企画部長	飯島 智		
	企画部地域創造課長	唐澤 直樹		
	企画部地域創造課人口増推進係長	田中 久		
	企画部地域創造課人口増推進係	中山 修一		
	企画部地域創造課人口増推進係	伊藤 貴		
議 事	(1) 地方創生総合戦略審議会について (2) 地方創生総合戦略におけるKPIについて (3) 地方創生交付金活用事業におけるKPIについて (4) 地方創生アルカディア事業について (5) 地方創生総合戦略の改訂について			
配布資料	資料1 伊那市地方創生総合戦略審議会 審議経過 資料2 伊那市地方創生総合戦略審議会条例			

資料 3	地方創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) 平成 30 年度進捗状況
資料 4-1	平成 30 年度 地方創生交付金活用事業一覧
資料 4-2	地方創生交付金に係る重要業績評価指標 (KPI) 平成 30 年度進捗状況
資料 5-1	伊那市地方創生人口ビジョン・総合戦略の概要
資料 5-2	社人研の将来推計人口について
資料 5-3	伊那市地方創生総合戦略等 改訂スケジュール等
資料 6	地方創生アルカディア事業について

## 1 開 会

## 2 委嘱書交付

白鳥市長から変更委員に委嘱書を交付

## 3 あいさつ

### (1) 伊那市長

- ・本日は、お忙しい中、地方創生総合戦略審議会にご出席いただき、感謝申し上げます。ただ今は、地方創生に対して広くご意見をいただけるよう、各種団体の代表や公募いただいた皆様を委員として委嘱させていただきました。

伊那市の地方創生総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」の理念に基づき、人口減少への歯止めと東京一極集中を是正し、将来にわたって活力のある伊那市を維持していくための指針として、審議いただき、平成 27 年 10 月に策定し、来年 3 月で 5 年間の計画期間が終了となる。

これまで、「日本を支えるモデル地域」の実現を目指し、既存の取組に加え、IOT を活用した新産業技術の推進や木質バイオマスのブランド化によるソーシャル・フォレストリー都市の創造、低炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの導入（伊那から減らそう CO2）など、先駆性のある新たな取組も推進している。

令和 2 年度以降は地方創生第 2 期の取り組みとなり、これまでの取り組みに加え、Society5.0 など新たな時代の流れや、関係人口の創出拡大など地方への人の流れを強化する取り組みが必要となってくる。

本審議会では、総合戦略の改訂に向けた検討、総合戦略に基づく施策の推進状況の検証など、審議をお願いする予定である。委員の皆様には、公私ともお忙しい中とは存じますが、伊那市の地方創生の進展に向け、それぞれのお立場で格別のご理解とご協力をお願いしたい。

## 4 自己紹介

## 5 会長及び副会長の選任

委員互選により以下のとおり選出

- ・会 長：原 武志 委員（上伊那森林組合 専務理事）
- ・副会長：向山 賢悟 委員（伊那商工会議所 副会頭）

（会長あいさつ）

会 長： 市長のあいさつにもあったが、日本の人口は平成 20 年をピークに人口が毎年減少していく。日本のほとんどの自治体が人口減少、少子高齢化という大きな課題に直面している。審議会を通じて伊那市のあるべき姿について提言ができればと思うので、皆様の積極的な意見をいただきたい。

## 6 会議事項（進行：原会長）

### （1）伊那市地方創生総合戦略審議会について

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： （資料1、2により説明）

会 長： 説明内容について、ご意見、ご質問等がありますか。  
（意見なし）

### （2）伊那市地方創生総合戦略におけるKPIについて

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： （資料3、資料5-1より説明）

会 長： 説明内容について、ご意見、ご質問等がありますか。

委 員： 信州そば発祥の地伊那そば振興会で、現在5週連続ぶっとおしそば三昧の最中である。今年は天候にも恵まれ、大変多くの方に来場いただいている。去年は台風の影響で中止となった行者そば祭りも開催できた。また、在来種そばの「入野谷在来」の復活に取り組んでいる。その在来種の販売を11月22日に初めて行う予定で、高遠の4店舗で取り扱う予定。毎週やることで、伊那に行けばそばのイベントがやっている状況になってきた。台風の影響による、国道361号線の通行止めもあり、高山ラーメン、すんきそばの関係者は高遠でのイベント参加は大変であったが、盛況のうちに終えることができた。そばに関しては順調に推移していると感じている。

委 員： ファミリーサポートセンター協力会員の数値に関して「努力を要する」となっているが、指標は大きいですが、現状が達成に到達していない理由についてはどうか。

事務局： 事業の推進は担当課で行っているのので、確認の上、回答したい。

#### 担当課からの回答：

協力会員の登録者は、養成講座修了者の登録で増加する分と退会により登録抹消する分とがあり、差引をした結果が協力会員数となる。平成30年度については、100人を超える協力会員数となったこともあり、年度末で協力会員全員に登録継続について、意思確認を徹底した。この結果、脱会者が例年よりも増加したため、協力会員数が減少している。毎年、センター事業の運営が保てるように、養成講座の受講者は10人以上を目指し、開催してきている。依頼会員からの依頼については、現在の会員数で賄うことができています。

### （3）地方創生交付金活用事業におけるKPIについて

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： （資料4より説明）

会 長： 説明内容について、ご意見、ご質問等がありますか。

委 員： 拠点整備交付金について、連合上伊那地域協議会では現行の事務所が老朽化しており、建て替え、または移転を検討している。働く仲間が気軽に立ち寄れる、意見交換できる場として、旧伊那消防署も候補として検討をしている。現状の計画についてお聞かせいただきたい。

事務局： 事業の推進は担当課で行っているのので、確認の上、回答したいが、現状では施設内部の解体が終了した状況。

#### (4) 地方創生アルカディア事業について

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： (資料6より説明)

会 長： 説明内容について、ご意見、ご質問等がありますか。

委 員： 人口動態の社会動態の中で2003年だけ150人くらい増になっている。また、1997年から隔年でプラスマイナスとなっているが、要因は分析されているか。

事務局： ご指摘のとおりだが、要因は把握できていない。ただ、社会動態も大きくプラスである一方、自然動態もプラスの時期であった。コンサルタント会社に委託して分析しているので、分かれば報告したい。

会 長： いろんな要素があると思う。何をやれば効果があるというのが難しいが、分析していくのは大切。

委 員： 地元の長藤区、藤澤区、三義区にある保育園では森を使った「やまほいく」で都会から人が来ている。一方で人や戸数が減っており、戸数が半分くらいになっているところもある。どのようにしたら良いのか。新しい人とそうでない人の集落が別になるのではという危惧がある。地区の行事などに参加してもらい、都会から来た人たちが来てよかった、前からの人たちも積極的に受け入れられるような形になれば良いと思う。

委 員： 私自身が大工をやっているが、職人の育成の観点でも地元の大工や工務店を大切にしていけないといけないのではないかと。地域から職人がいなくなってしまう。現在私が45歳だが私より年下は地域に10人もいない状況。

#### (5) 地方創生総合戦略の改訂について

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： (資料5より説明)

会 長： 説明内容について、ご意見、ご質問等がありますか。

(意見なし)

オブザーバー： 地方創生総合戦略に盛り込まれた内容について、地方創生推進交付金や地方創生拠点整備交付金など有利な状況で事業を行えることになる。

皆さんに活発に議論をいただいて今後さらに伊那市の将来に向けて良い計画ができればと思う。

#### (6) その他

特になし

#### 7 その他

特になし

#### 8 閉 会